



平成 24 年 11 月 29 日

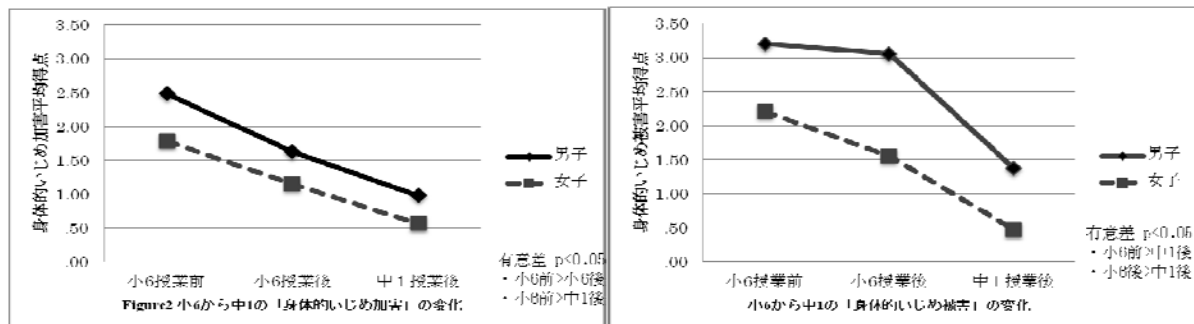
いじめを予防する心理教育サクセスフル・セルフについて

<概要>

- ・心理教育サクセスフルセルフ®の授業を小学校と中学校が連携して連続的に行うことにより、児童生徒のいじめを効果的に予防することが可能であることを報告します。
- ・この心理教育サクセスフルセルフ®を実践するための資料と実践方法をまとめて、岡山大学出版会から「児童生徒のいじめ・うつを予防する心理教育“サクセスフル・セルフ”」を発刊しました。

<本 文>

- 小学校と中学校が連携して連続的に取り組むことが大変効果的であることを、岡山大学大学院教育学研究科研究集録第 151 号(2012 年 11 月発行)、「小中連携による児童生徒のいじめを予防する継続的心理教育—“サクセスフル・セルフ 2010”を用いた実践研究—」に報告致しました。



- 文部科学省の平成 23 年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」では、いじめの件数は、小学 6 年から中学 1 年にかけて倍増しピークとなることが報告されています。しかし、学術的にいじめを予防可能なことが実証された国内での取り組みは、殆どありません。心理教育サクセスフルセルフ®は、小学校および中学校の授業の中で行うことで、いじめ・暴力行為・飲酒・うつといった様々な問題を予防することが実証されている数少ない取り組みの一つです。
- また、心理教育サクセスフルセルフ®を実践するための資料と実践方法をまとめて、2012 年 3 月に岡山大学出版会から「児童生徒のいじめ・うつを予防する心理教育“サクセスフル・セルフ”」を岡山大学の教科書として発刊し、将来教員を目指す岡山大学教育学部の学生への講義および学校教員の免許状更新講習で使用しています。いじめ対策に資することを願っています。
- 尚、サクセスフルセルフ®は、登録商標であることを申し添えます。

<お問い合わせ先>

岡山大学大学院教育学研究科准教授 心理・臨床学系 教育臨床心理学講座
安藤美華代 (メール) miando@okayama-u.ac.jp